

J R 旅客会社の基準単価・基準コスト等について

J R 旅客会社（J R 旅客会社とは、北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社及び九州旅客鉄道株式会社の6社の総称です。）の基準単価・基準コスト等は、次のとおりです。

1. 基準単価

平成16年8月1日以降にJ R 旅客会社が運賃改定の申請を行う場合の基準単価の算定は、次式により行います。

$$\text{基準単価} \quad y = ax_1 + bx_2 + c$$

(1) 線路費

$$y = \text{線路延長1キロ当たり基準単価}$$
$$a = 10,401.561 \quad b = 0.587 \quad c = -42398.222$$
$$x_1 = \text{車両密度(対数)} \quad x_2 = \text{雪量}$$

(線路費とは、線路や路盤の維持補修、作業管理に要する経費です。)

(2) 電路費

$$y = \text{電線延長1キロ当たり基準単価}$$
$$a = 6.398 \quad b = 40.147 \quad c = -580.766$$
$$x_1 = \text{電車密度} \quad x_2 = \text{電車線割合}$$

(電路費とは、電車線や信号設備等の維持補修、作業管理に要する経費です。)

(3) 車両費

$$y = \text{車両1両当たり基準単価}$$
$$a = 61.275 \quad b = 0.472 \quad c = -2369.353$$
$$x_1 = \text{1両当たり車両走行キロ} \quad x_2 = \text{雪量}$$

(車両費とは、車両の整備補修、作業管理に要する経費です。)

(4) 列車運転費

$$y = \text{営業キロ当たり基準単価}$$
$$a = 19.720 \quad b = 4185.660 \quad c = -6338.099$$
$$x_1 = \text{1列車1キロ当たり乗車人員} \quad x_2 = \text{列車密度(対数)}$$

(列車運転費とは、列車の運転や作業管理に要する経費です。なお、動力費は含まれていません。)

(5) 駅務費

$$y = \text{1駅当たり基準単価}$$
$$a = 44.482 \quad b = 58236.961 \quad c = -205859.014$$
$$x_1 = \text{1駅当たり乗車人員} \quad x_2 = \text{平均乗車距離(対数)}$$

(駅務費とは、駅の維持や乗車券の発行等に要する経費です。)

2. JR旅客会社の平成15年度の基準単価、基準コスト、実績コスト等の状況

平成15年度の基礎データに基づき算定した基準単価、平成15年度の施設量及び基準単価に施設量を乗じて算定された基準コストの合計額並びにそれに対応する実績コストの合計額は、以下のとおりです。

なお、基準コストは、鉄軌道業の各種経費のうち、各社共通で比較可能な線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費の5費目（ヤードステイック対象経費という。）についてその基準となるコストを示すものであり、輸送サービスの質や事業全体の評価を行うものではありません。

ちなみに、旅客鉄道会社の鉄軌道業の営業費用に占めるヤードステイック対象経費の割合は6社平均で、44%です。

(1) 基礎データ

	線路費		電路費		車両費		列車運転費		駅務費	
	x1	x2	x1	x2	x1	x2	x1	x2	x1	x2
北海道	3.908	9,511	53.176	21.528	129.373	9,511	119.224	2.692	261.085	4.020
東日本	5.162	1,387	152.007	31.047	170.002	1,387	484.420	3.541	3,468.305	3.192
東海	5.654	319	264.619	25.082	291.708	319	522.660	3.864	1,221.116	5.160
西日本	5.036	741	128.521	32.570	187.357	741	261.004	3.683	1,472.479	3.761
四国	4.289	2	80.145	23.199	144.225	2	74.916	3.194	196.705	3.822
九州	4.627	9	93.199	28.016	155.050	9	122.935	3.436	518.871	3.679

(2) 基準単価

基準単価は、(1)の基礎データを基準単価算定の式に代入して求めます。

(単位：千円)

	線路費	電路費	車両費	列車運転費	駅務費
北海道	3,834	624	10,047	7,281	39,867
東日本	12,109	1,638	8,702	18,036	134,311
東海	16,599	2,119	15,656	20,142	148,961
西日本	10,419	1,549	9,461	14,225	78,669
四国	2,215	863	6,469	8,508	25,472
九州	5,735	1,140	7,136	10,468	31,475

(3) 施設量

	線路延長 (キロ)	電線延長 (キロ)	車両数 (両)	営業キロ (キロ)	駅数 (駅)
北海道	3,106.2	5,304.3	1,196	2,499.8	472
東日本	12,700.2	45,274.5	13,039	7,526.8	1,697
東海	3,327.3	13,751.6	3,255	1,977.8	406
西日本	8,069.0	27,646.4	6,623	5,021.7	1,215
四国	898.4	1,751.8	454	855.2	258
九州	2,638.8	8,790.9	1,740	2,102.2	573

(4) 基準コスト合計額

及び実績コスト合計額

	基準コスト (百万円)	実績コスト (百万円)
北海道	64,254	60,460
東日本	705,091	755,743
東海	235,645	226,229
西日本	356,572	364,214
四国	20,287	19,044
九州	77,613	72,199

(注)「基準コスト合計額」は、線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費のそれぞれについて(2)基準単価に(3)施設量を乗じて算定した基準となるコストの合計であり、実績コスト合計はそれに対応する実績の支出額です。